

## 題名：横浜労災病院で VA ECMO を施行して ICU に入室した患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	VA ECMO における下肢虚血のリスク因子の検討 ( 2024-3 )
当院の研究責任者 (所属)	齊藤 祐弥 (横浜労災病院 中央集中治療部)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	心肺蘇生時や重度の循環不全の際には生命維持のために体外式膜型人工肺：VA-ECMO (veno-atrial extracorporeal membrane oxygenation) の導入が必要になりますが、大腿動脈に太いカニューレを挿入するため一定の割合で下肢虚血が生じます。下肢虚血が生じた場合には下肢送血路：DPC(Distal perfusion cannula)の挿入が必要となり、更に悪化した場合には下肢切断などが行われることもあります。一部の報告では若年者や体格が小さい場合には血管径が細く、下肢虚血が起こりやすいと言われていています。しかし、VA-ECMO 挿入患者では全身状態が非常に悪いことも多く、多臓器不全状態であることや血管収縮薬の投与が下肢虚血を増悪させている可能性があり、VA-ECMO 患者特有のリスク因子に関しては十分に検討されてはいません。下肢虚血を起こすリスクを明らかにする目的で本研究を行います。
研究の方法 (利用する試料・情報)	研究実施期間： 2024 年 4 月～ 2025 年 12 月 当院 ICU に入室され、VA-ECMO を施行した患者さんが対象になります。電子カルテから、年齢、性別、身長、体重、具体的な ECMO 施行時の状況、下肢虚血の有無、既往歴、血管収縮薬の使用、重症度スコアなどといった診療情報を抽出します。
利用する試料・情報の 該当期間	2016 年 1 月～ 2024 年 3 月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関への情報提供予定はありません。
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定

	できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：齊藤祐弥(所属：中央集中治療部)
備考	